

## Interview：好調なアンティークロッカー事業の秘訣とは？！



東京支店営業の村山です。

今回は、事業再構築補助金を活用した設備投資を契機に開始した自社製品の製造販売事業が、現在では主要事業になるまで成功した小高製作所様に、成長の秘訣を伺ってきました。

### 有限会社小高製作所様(東京都)



左：小高代表  
右：小高取締役

**村山** 事業再構築補助金の活用を契機に始めたアンティークロッカーのオーダーメイド事業が好調と伺いました。

**小高** はい。おかげさまで売上の半分以上はオーダーメイド事業です。

**村山** もともとどのような経緯でオーダーメイド事業を始めたのでしょうか。

**小高** 設計事務所さんからの依頼で製作したのが始まりでした。その製品をホームページに載せたところ引き合いがきて、そういったアンティークなロッカーが求められていることがわかり、本格的に開始しました。

**村山** 現在では貴社の主要事業となっているわけですが、どのようにお客様を増やしてきたのでしょうか。

**小高** まずはお客様のニーズに100%応えること。これまで大手什器メーカーの事業で培った品質の高さを活かしてお客様の要望をカタチにし、感動してもらうこと目指しました。そしてその実績をSNSに掲載しつつ、直接ターゲット層にアプローチしました。

**村山** 地道にプロモーション活動をされたのですね。SNSを活用したきっかけを教えてください。

**小高** 当初はYahooやGoogleの広告出稿を検討していましたが、息子からSNSの方がいいと助言を受けたため、独学ではじめました。

**村山** 独学で！すごいですね。普段どのようにプロモーションをしていますか。

**小高** 製作した製品や納品時、お披露目時の写真を自社アカウントに掲載しつつ、その事例を見て「うちにもほしい」と思ってもらえるよう、ターゲット層に積極的にアプローチしています。

**村山** それ以外にも取り組まれたことはありますか。

**小高** 納品やお披露目会での営業活動も行いました。実際、それがきっかけで受注につながった事例もあります。

**村山** SNSを活用したプロモーションをやろうと思っている事業者へアドバイスはありますか。

**小高** 地道にアップし続けること、ターゲットのSNSは必ずチェックし、アプローチを続けることが大事だと思っています。

**村山** ありがとうございました！



▲制作したオーダーメイドロッカー

会社名：(株)小高製作所  
住所：東京都江戸川区谷河内2-13-24  
電話番号：03-3670-3066  
会社HP：<https://odk-ss.co.jp/>



Instagram

### 1Up Column 第5回 QC7つ道具(管理図)



こんにちは！コンサルタントの高原です！

QC7つ道具4つ目の紹介は「管理図」です。

管理図ですが皆さん活用していますか？

これ、Excelで作ろうとするとかなり大変ですよ。専用ソフトを入れればすぐに作れますが、そこまではかかるといった所もあるかと思います。

簡単に作れる方法をお教えしたい所ですが、愚直に作るしかありません。なので今回は管理図の見方についてご案内します。

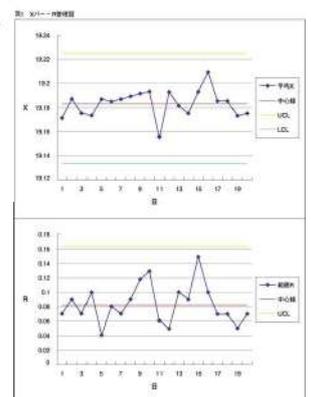
管理図にも種類がいくつかありますが、一般的なX-R管理図にて紹介します。

見方については異常判定ルールがあるので、言うまでもないですが、

重要なのは見る順番です。まずはR管理図からチェックします。

R管理図にて安定状態であるかを見てからX管理図を見ます。

安定状態でなければ原因を特定し、安定状態にすることが大切です。



当社HP	Youtube	CO2比較.com	Instagram	公式LINE
ゼロプラスの歴史や事業内容についてチェック	当社の会社紹介や脱炭素セミナーの様子をチェック	脱炭素の情報はこちらをチェック	Instagram始めました！	補助金・脱炭素などのお役立ち情報を配信！
				ゼロプラス公式 LINE 大塚社長公式 LINE

問い合わせ先  
〒 664-0858  
兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F  
TEL 072-764-5340  
FAX 03-6800-5265  
Mail info@zeroplus-consul.co.jp

## 脱炭素関連情報

2024年11月から12月にかけて国内のSBT取得企業が100社を超え、このまま増加が続けば1年で1000社を超えることとなります。去年日本はSBTコミット数世界1位となり、今年もその動きが滞ることなく、2年連続世界1位に手が届きそうです。

2023年は、ものづくり補助金の申請要件に入っていたこともあり、補助金獲得のために、認定数が増加しましたが、2024年以降にSBT認定が要件に入っている補助金などは見つかりません。つまり認定取得の需要が高まっていることがわかります。

SBT認定は、認定マーク取得=CO2排出量の集計が完了していると捉えることができます。



大手メーカーが抱えてる数百~数千のサプライヤーリストの中で“光るもの”としてのメリットを感じて取得している中小企業が増えているのでは？と弊社では考えております。これから大手メーカーからのCO2排出量の要請は益々増えていくことでしょう。対策は絶対必要です！



## 補助金情報

**ものづくり補助金19次公募  
申請締切4月25日 (金) 17:00**

【高付加価値化枠 補助金額】

- |        |                   |
|--------|-------------------|
| 5人以下   | 750万円 (850万円)     |
| 6~20人  | 1,000万円 (1,250万円) |
| 21~50人 | 1,500万円 (2,500万円) |
| 51人以上  | 2,500万円 (3,500万円) |



ついにもものづくり補助金の公募が開始されました！  
補助率は1/2(小規模は2/3)です

## 代表から一言

一部では評判がよろしくない事業再構築補助金ですが、もちろん補助金の趣旨にそった事業転換を実施し見事に成長に繋げている会社もたくさんあります。今月の紹介先、有限会社小高製作所もその一つ。もともと大手オフィスメーカーの下請けとして鋼製什器を製造した同社ですが、事業再構築補助金で設備を導入すると同時にInstagramや専用ECサイトを立ち上げ、オーダーメイド什器を一般顧客へ直販する事業へ主力業務を転換することに成功されました。最近では製造業でもInstagramやYouTubeを活用している会社も増えてきましたが、やはりSNS成功の秘訣は継続ですね。ゼロプラスもInstagramや公式LINEでの発信をはじめていますが、小高製作所さんを見習って毎日更新を継続できるように頑張っていきます！

